

小学生向け年金教育図書による効果的な広報事業

令和3年1月28日
厚生労働省年金局総務課
年金広報企画室

小学生向け年金教育図書による効果的な広報事業 (公的年金制度の仕組みが誰にでも容易に理解できる教材の開発)

(参考) 第7回年金広報検討会提出資料

事業目的

- 若い世代に年金制度について考える機会を提供するため、学生との年金対話集会やこども霞が関見学デー、年金広報コンテスト等の年金教育・広報活動を実施している。また、地域展開事業の中で、個々の年金事務所の創意工夫により幼稚園児や小学生等を対象とした年金を題材とした塗り絵コンテスト等を実施している。
- また、内閣府が平成30年11月に実施した老後の生活設計と公的年金に関する世論調査において、「公的年金制度の内容について、多くの方に理解してもらうためには、どのようなことが必要か」聞いたところ、約半数の方が「学校における年金に関する授業の充実」(45.7%)との回答を得ており、若年層に対する年金教育が重要である。
- よって、学生をはじめとする子ども達が、公的年金制度を楽しく学ぶための年金教育教材を制作し、電子書籍として掲載する。

事業概要

1. マンガ教材の作成
 - ・構成案、ストーリー案の作成
 - ・子ども達の興味関心を促すためのクイズの活用
2. 教員へのヒアリングによる教育内容の適切性の確保
 - ・小中学校における社会科、家庭科における教科書執筆教員へ、構成案・ストーリー案のヒアリング
 - ・上記ヒアリングに基づいた反映
3. 子ども(読者)、親による読書モニター調査による表現の適切性の確保
 - ・教育教材としての表現内容の適切性について、一般の読者モニターによる、事前チェックを行い、読者に不快感を与えると想定される表現を特定し適切な表現に修正する。

【スケジュール】

- ・令和2年度末までに電子書籍の完成・掲示

<小学生用教育図書の例>



2-2 令和2年度における年金制度に関する周知・広報の主な取組み

1 令和2年改正年金法の広報

■令和2年改正年金法について、特に被用者保険の適用拡大について重点的に広報コンテンツを開発し、当該改正の趣旨を正しく周知する。



2 個々人の年金の「見える化」の取組みの検討

■令和2年改正年金法の趣旨をわかりやすく正確に伝え、かつ、公的年金、私的年金等を通じて個々人の現在の状況と将来の見通しを全体として「見える化」するための仕組みを構築するため、年金アプリ（公式）の開発を検討する。

<スウェーデン年金庁の「見える化」>



3 公的年金制度の仕組みが誰にでも容易に理解できる教材の開発

■令和2年改正年金法の趣旨や、昨今の社会・経済状況の変化に合わせ、若い世代（小中学生向け）の教育コンテンツの開発を行う。



※現在の年金教育コンテンツの例

4 国民1人1人が参加して年金制度の意義や仕組みの理解を深める広報

■ 年金広報コンテスト

次代を担う若い世代と一緒に年金について考えることを目的に「令和の年金広報コンテスト」を開催。

■ 「学生との年金対話集会」

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金について語り合うことを通して、学生に年金の問題について考えていただくとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かしていく



主催 厚生労働省 応募締切 2020.9.11(金)
協賛 日本年金機構、年金積立金管理運用独立行政法人、国民年金基金連合会、企業年金連合会、年金シニアクラブ、総合研究機構
後援 文部科学省、全国都道府県教育委員会連合会、全国高等学校長協会